

令和7年度名張市総合防災訓練の考え方

令和7年5月14日
総務企画委員会協議会資料②
なばりの未来創造部 危機管理室

想定する災害

- 1 南海トラフ地震
(震度6弱想定)
- 2 激甚化・頻繁化する豪雨災害

防災訓練の目的

- ・市全体の防災意識の高揚
- ・防災諸行動の習熟

令和6年度総合防災訓練

時期：令和6年11月16日（土）

出水期等を考慮して、例年11月第3土曜日の午前中を選定
小中学校は訓練当日を授業日として、地域と小中学校との連携を促進

訓練内容（南海トラフ地震を対象）

- 〈市災害対策本部による訓練〉
 - 1 市災害対策本部設置・運営訓練
 - 2 消防本部との合同訓練等
- 〈その他市各所管における訓練〉
 - 1 多数傷病者への対応訓練
 - 2 応急給水訓練
 - 3 応急危険度判定訓練
- 〈各地域づくり組織における訓練〉
 - 1 安否確認及び報告訓練
 - 2 地域対策本部の設置運営訓練
 - 3 消防団、小中学校との連携
 - 4 自衛隊の訓練参画

令和6年度総合防災訓練の課題等

課題と対応の方向性

市訓練の課題と対応の方向性

- 1 市役所内の災害対策本部運営の習熟
→レイアウトの改善等
- 2 災害業務用アプリの操作への習熟
→職員操作訓練、実災害時を含む習熟
- 3 訓練想定の見直し（R6：地震対象）
→風水害を対象とした訓練
- 4 各部局ごとの実効性の向上が必要
→機能別訓練の実施

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨等の教訓への対応

- 1 安否確認など平素からの基本的な訓練の積み重ねによる犠牲者の抑制
- 2 共助による倒壊家屋からの救助
- 3 孤立化地域の発生への対応
- 4 災害関連死の増加 要配慮者への対応
- 5 線状降水帯による氾濫・浸水・住宅流出

基本的訓練継続の有用性・必要性を再確認
R7：避難所生活改善用備品の調達・配備

令和7年度総合防災訓練

時期：令和7年11月15日（土）

訓練内容（風水害：H29台風10号相当以上を想定）

令和6年度の訓練に準じた内容

- 〈市災害対策本部による訓練〉
 - 1 市災害対策本部設置・運営訓練
 - 2 消防本部との合同訓練
 - 3 通信訓練
- 〈その他市各所管における訓練〉
- 〈各地域づくり組織における訓練〉
 - 1 安否確認訓練等の基本的訓練の継続
 - 2 防災行政無線、特設公衆電話操作訓練
 - 3 避難所生活改善用備品の活用

訓練計画策定時の着意事項

- 1 市役所内に開設した災害対策本部の運営への習熟
- 2 災害対策本部・各部の情報共有の促進のため災害業務用アプリへの習熟
- 3 地域・消防団・学校の連携強化継続
- 4 多様な避難者対応、避難所生活の改善
- 5 年度を通じた訓練・研修会等の実施
(応急救護所に係る訓練、防災航空隊との訓練、福祉避難所開設運営訓練等)